



# 日新小だより

<http://www.fuchu22s.fuchu-tokyo.ed.jp/>

令和7年11月29日(土)  
12月号  
府中市立日新小学校  
校長 山田 隼土

## 共生社会を生きる

副校長 近藤 英仁

聴覚障害者による国際スポーツ大会「東京2025デフリンピック」が11月15日から26日まで開催されました。本校は4年生が武蔵野の森総合スポーツプラザにある京王アリーナ TOKYO にバスで行き、バドミントンを観戦しました。

事前にデフリンピックの観戦イントロダクションを見て、「行け!」「大丈夫、勝つ!」「メダルをつかみ取れ!」の3つの応援動作を学びました。体を動かしながらの応援は意外と楽しいです。またデフリンピック応援ボードを各自が持ってみんなで応援しました。聴覚に障害がある人達にとって、声の応援は届かないので、ボードをもって応援することも一つの工夫です。観戦に参加することで、聴覚の障害を体験して学ぶ貴重な機会となりました。



↑老人ホームでの交流の様子

本校の4年生は日新アクティブ(総合的な学習の時間)で「共生社会」をテーマに1年間を通して取り組んでいます。10月には「老人ホーム フローレンスケア 聖蹟桜ヶ丘」で、音楽で学んだ歌を披露したり、リコーダーを演奏したりして、施設を利用している方々と交流を深めました。一緒にお話する場面では緊張していましたが、耳が聞こえづらい方には近くに行き、しゃがんで聞こえるように話す様子も見られました。相手のことを考えて行動できたと思います。

11月18日には聴覚障害を学ぶため、府中市の聴覚障害者協会から「高野淳子」さんを講師として呼びました。高野さんは本校の学区域に住んでおり、日新小をよく知っている方です。高野さんの3人のお子様は日新小の卒業生で、去年は本校に赤白帽を寄贈してくれました。

授業はただ手話を教えるだけでなく、音声を使わないで身ぶりや次の人にキーワードを伝えていく伝言ゲームを取り入れるなど、楽しみながら手話が学べるように教えてくれました。

高野さんから「区別しないでほしい。特別扱いもしないでほしい。みんなと同じように過ごせるよう、考えてくれたらうれしい。」とメッセージをいただきました。この学びが共生社会を生きるスタートです。耳の不自由な方だけでなく、多様な方が同じく仲よく暮らせる社会を考え、目指せる日新小の児童になってほしいです。



↑手話講師の高野淳子さん

### 令和7年度 WEB 学校評価(保護者アンケート)のお願い

本校では、例年2学期後半に保護者様・児童を対象に当年度の教育活動の評価をもとに、次年度の教育計画を立てています。ご多用とは存じますが、次のとおり、ご協力をよろしくお願いいたします。

- ① 11月29日(土)に、アンケートをスマート連絡帳で児童数配信します。
- ② 12月19日(金)までに、「世帯で1回答」をお願いします。

## 【わくわく自然教室】

担当 5年3組担任 吉田 かおり

5年生は10月7日(火)から10日(金)まで長野県飯山市にわくわく自然教室に行きました。自然教室では、「感謝」「助け合い」「学び」の3点を意識して様々な活動に取り組みました。

**1日目** 1組はジップライン、2・3組は希望(のぞみ)湖畔のトレッキングを行いました(2日目の午前は活動を入れ替えて行いました)。どちらも自然の豊かさを感じたり、学んだりすることができました。

**2日目** 午後からは戸狩温泉地区の9つ宿に分かれ、それぞれの宿で「お父さん」「お母さん」との生活が始まりました。マイ箸作りを行い、夕食はバーベキューをしました。



**3日目** 飯山市内巡りで紙すき体験やふろさと館見学をしたり、各宿で「宿ごと体験」をしたりしました。「宿ごと体験」では、さつまいも掘りやジャム作り、焼き板作りなどを行いました。

**4日目** 各宿で昼食のおにぎり作りをしたり、お世話になった「お父さん」「お母さん」とお別れ会をしたりした後、りんご狩りをして帰路に着きました。



仲間と「助け合い」、様々な経験をし、多くの「学び」を得た5年生。今回お世話になった方々だけでなく、いつも支えてくれている方々の存在に気付くことができました。「感謝」の気持ちを忘れずにこれからも成長していきます。

## 【起震車体験】

担当 4年2組 高屋 陽央

11月13日(木)に行われた避難訓練では、地震が起きた想定での避難でした。子供たちは静かに速やかに避難をし、立派な態度で臨みました。

避難訓練の後、4年生と5年生は起震車体験をしました。実際に大きな地震の揺れを体感すると、「怖い」「どうすればよいか分からなくなる」など困惑する児童が多く見られました。しかしその後、職員の方から災害の実体験や正しい対応の仕方について聞くと、地震が起きたときにどのように対応しなくてはいけないのか、自分にできることは何かを前向きに考えていました。

大きな災害を経験していない子供たちにとって、災害の恐ろしさや自分の身を守る方法を学ぶ良い機会になったと思います。





## 【日光移動教室】

担当 6年1組担任 内山 恵理香

**1日目** 日光移動教室初めての見学は日光東照宮です。歴史的な建物を間近で見た子供たち。「すごく大きい!」「眠り猫がかっこよかった」など、様々な感想をもっていました。

**2日目** 午前は、ハイキングで自然の中を歩きました。天候にも恵まれ、きれいな景色を見ることができました。夜は、学年レクでお化け屋敷で盛り上がりました。

**3日目** 足尾銅山の見学をしました。この場所は、かつて日本の産業を支えた重要な鉱山であり、子供たちにとって貴重な学びの場となりました。

保護者の皆様、様々なご協力をいただき、ありがとうございました。



## 【展覧会 11月20日(木)～11月22日(土)】

担当 福田 幸子

今年度は『かがやけ みんなの夢いっぱいアート』をテーマに、二年に一回の展覧会を行いました。1学期から2学期にかけて図工の授業で絵や工作など数々の作品を制作し、体育館に展示しました。体育館の入り口や壁を彩るカラフルな飾りやお花紙を使ったフォトスポット等も、児童が協力して制作しました。

児童鑑賞の時間では、それぞれの工夫や思いが込められた作品を夢中になりながら熱心に鑑賞し、友達とお気に入りの作品を紹介し合う姿が印象的でした。

たくさんの保護者・地域の皆様にもご来場いただき、ありがとうございました。

